



送迎時における居宅内介助について

送迎時における居宅内介助について



地域密着型通所介護の所要時間による区分の取扱いについては、送迎に要する時間は含まれないものであることとされておりましたが、平成27年度の報酬改定より所要時間の区分による取扱いが見直しされ、**送迎時に実施した居宅内での介助等に要する時間**は、地域密着型通所介護を行うのに要する時間に含めることができるようになっております。

算定するためにはいくつかの条件を満たしている必要があります。



送迎時に実施した居宅内での介助等とは・・・

- ・ 着替え
- ・ ベッドへの移乗
- ・ 車椅子への移乗
- ・ 排泄介助
- ・ 戸締り

etc・・・



算定条件

- ①居宅サービス計画及び地域密着型通所介護計画に位置づけられていること
- ②送迎時に居宅内の介助を行う者が、介護福祉士、実務者研修修了者、介護職員初任者研修修了者、看護職員、機能訓練指導員、又は事業所における勤続年数においてサービスを利用者に直接提供する職員としての勤続年数の合計が3年以上の介護職員であること

算定する場合において**無資格者**が居宅内介助を行うことは認められておりません。



その他留意事項

- 1日30分以内を限度とすること
- ケア記録等に記録を残すこと
- 他の利用者を送迎時に車内に待たせて行うことは認められない